



# User's manual

## NAKI8850B

### ポータブル魚群探知機 NAKI8850B

日本語取扱説明書

本書は大切に保管して下さい。



FIND FISH BEFORE YOU START...

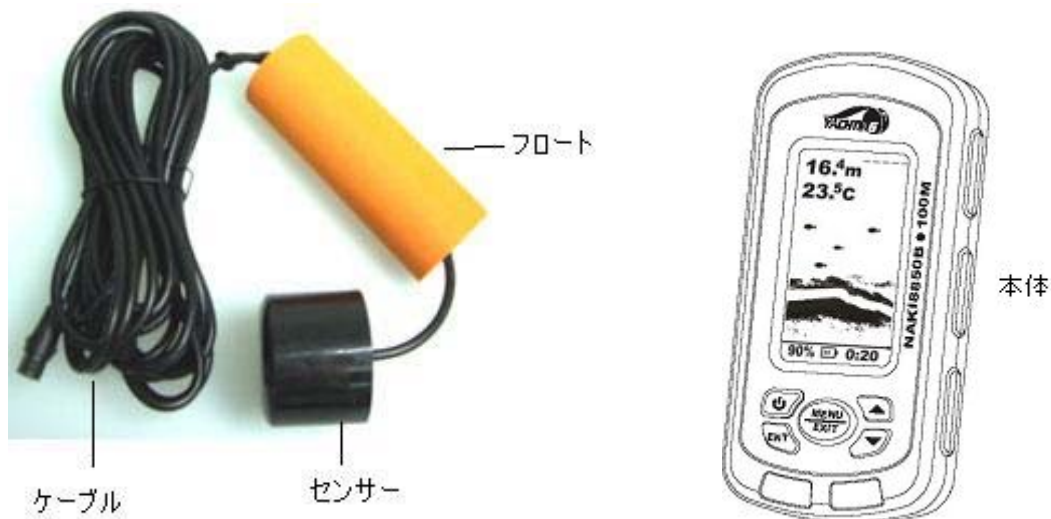
## はじめにお読み下さい

この度は「ポータブル魚群探知機 NAKI8850B」をお買い求め下さいましてありがとうございます。製品を正しくご使用いただくためにご使用前に必ず本書をお読み下さい。また、大切に保管して下さい。

### 【製品内容】

※方が一部品に不足、破損等の不備があった場合は弊社までご連絡下さい。

(有)海遊社 E-mailアドレス:[info@kai-you.com](mailto:info@kai-you.com) TEL:0557-68-3456



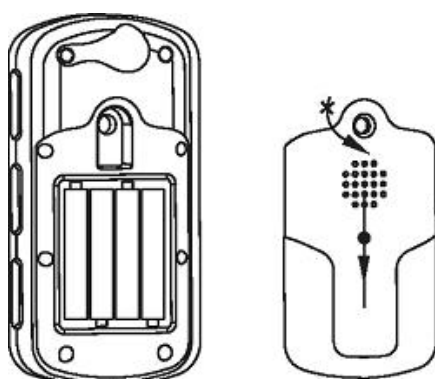
### !) ご注意下さい

- ・ 分解解体しないでください。
- ・ 6歳以下のお子様のご使用になる際は必ず保護者の方が同伴してください。
- ・ **本体に防水機能はありません。** 本体・ケーブルの差込口・ケーブルに付いている差込プラグに水がかからないようにしてください。雨天でのご使用も避けてください。

## 【製品仕様】

本体サイズ	(約) 138 mm × 69 mm × 32 mm
モニターサイズ	(約) 128 × 64 ピクセル
電源	単四形アルカリ乾電池 × 4
電池寿命	(約) 20 時間 (連続使用の場合)
測深深度	最大 100m
深度表示	フィート/メートル 切替可能
作動温度範囲	14F ~ 122F (-10°C ~ 50°C)
温度表示	F/°C 切替可能
バックライト	ON//AUTO
アラーム	FISH/SHALLOW(浅瀬) アラーム
水質切替	Fresh(淡水)/Salt(塩水) 切替可能

## 【ご使用になる前に】



①本体背側の電池ボックスのネジをコインなどで回し緩めます。

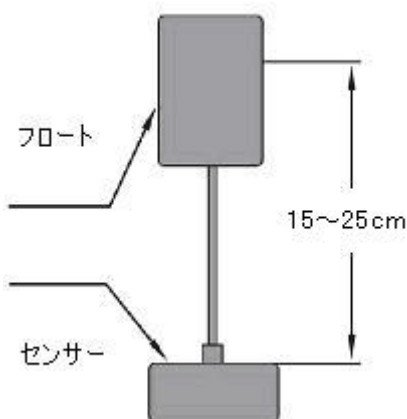
ふたを●印の方向へスライドさせてはずし、単四形アルカリ乾電池を図のように4本挿入します。

!) この時、ふたを×印の方へ回転させないで下さい。

ふたをスライドさせて閉じ、ネジをしっかりと締め直します。

②本体真上(バッテリー側を手前にして)のゴム製の栓をはずし、センサーコード(ケーブル)先端のソケットを差し込みます。

外れないようにしっかりと差し込んでください。



③フロート中央部のストッパー(ラバーストッパー)を外しフロート

からセンサーまでの距離を約 15cm ~ 25cm

あけて調節し、再度ストッパーをはめ込んでください。

ストッパーは外れないようにしっかりとはめこんでください。

## 1、センサーの使用法

### 【基本的な使用方法】

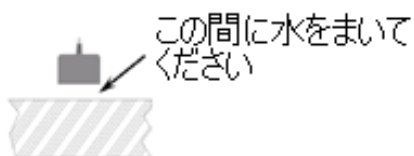
本体の電源を入れ、フロート・センサーをゆっくりと水中に投下します。  
投下する際はケーブルに絡まりが無いこと確認して、必ずセンサーを持って投下してください。

#### ！) ご注意ください

- ・ ケーブルを振りながら投入するとセンサーが故障する恐れがございますのでおやめください。
- ・ ケーブルが水中でたるんでしまった場合、余分なケーブルは手繰り寄せ水中に沈まないよう注意してください。
- ・ 回収する際、ケーブルがからまったり引っかかったりした場合は無理に引っ張らず、簡単に回収できる状態にしてからケーブルを手繰りよせて下さい。

### 【氷上での使用方法】

ごく少量の水を氷の表面にまき、そのままセンサーをのせセンサーと氷の表面を凍らせてくっついた状態にしてください。



#### ！) ご注意ください

- ・ センサーの下に気泡があった場合センサーは正常に作動しません。

氷から取り外す際はセンサーを軽く叩き、その振動で外すようにしてください。  
鈍器で叩いたり強い衝撃を与えたりしないでください。

センサーが作動しない場合、別の場所でご使用になるか、氷に穴をあけて水中にセンサーを投下してご使用ください。

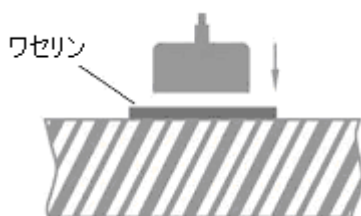
## 【ボートでの使用方法】

船のハルの表面にワセリンを塗り、センサーを図のようにハルへ押し付けるようにして密着させます。

深度が“ --- ”のまま、センサーが反応していないようであれば、別の位置に移動し、上記の動作を繰り返してください。

深度が正しく表示され、センサーが正常に作動する位置が見つかった場合は、シリコン等でハルに固定することも可能です。

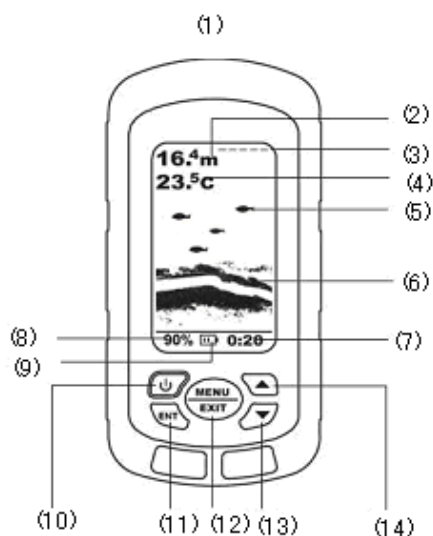
！)ただし、気泡など電波の傍受に妨げになるものが混じらないよう注意してください。



※ 船体の材質は無垢のグラスファイバーおよび 3mm以下のアルミニウムの船体で、船底に木のフローアーや合成樹脂のフローアーがないものに限りです。

※ ハルに取り付けて使用した場合、水温は正しく表示されません。

## 2、本体の名称とモニターの表示



- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| (1) プラグ(本体裏側) | (8) センサー感度      |
| (2) 水深表示      | (9) バッテリー残量     |
| (3) 水面イメージ    | (10) 電源ボタン      |
| (4) 水温表示 ※1   | (11) エンターボタン    |
| (5) フィッシュアイコン | (12) メニュー/戻るボタン |
| (6) 水底イメージ ※2 | (13) 下ボタン       |
| (7) 測深範囲      | (14) 上ボタン       |

※1 センサー周囲の水温が表示されます。

※2 水底のイメージをグラフィックで表します。

実際の水底の形状を表しているわけではありません。

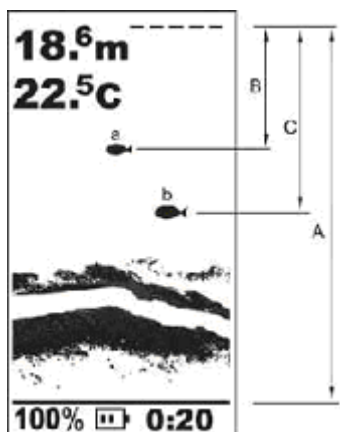


### 【操作ボタンについて】

電源ボタン・・・ON:1度押し OFF:3秒長押し

エンターボタン・・・調整した設定の決定/画面の一時停止

※ 通常画面でエンターボタンを押すと、画面が一時停止するので、水中の様子をゆっくり観察することができます。



### 【アイコン位置と水深】

例) 左図をご覧ください。

上のフィッシュアイコン(a)の水面からの位置は水深 B です。

Bは全体の水深 A18.6mの約 3分の1の位置にあたるため、

**水深 18.6mの約 3分の1 = 水深約 6.2m**

の位置に フィッシュアイコン(a) を感知していることになります。

同様に、フィッシュアイコン(b)は全体の水深 A の約半分の位置水深(c)にあたるため、水深約 9.3mにフィッシュアイコン(b)を感知していることになります。

(※ただし、フィッシュアイコンは音波に反応したあらゆる物体を感知するため、魚群を感知しているとは限りません。)

### 3、機能と設定方法

#### 【機能設定】

基本操作 : **MENU/EXIT** でメニューモードへ移行します。

**▲ ▼** で操作したいメニューを選び **ENT** で選択します。

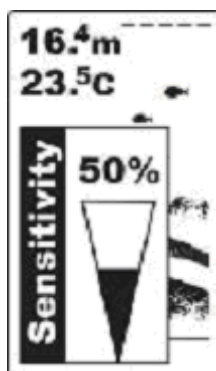
(※**ENT** で選択された場合はメニューの外側の縁が太くなります。)

**▲ ▼** で調整し、**ENT** で決定します。

次項目へ移る場合は **▲ ▼** で調整したい項目へ移ってください。

通常の画面に戻る場合は、**MENU/EXIT** で戻ってください。

- Sensitivity... 魚群探知の際の感度を調整します。

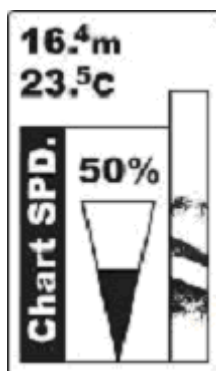


**▲ ▼** で高/低(%表示)を調整し **ENT** で決定

高(最高 100%): 水中が澄んでいたり、深い位置の魚を探すとき  
低(最低 0%): 水中が濁っていたり、浅い位置の魚を探すとき

- Chart speed... 画面の流れるスピードを調節します。

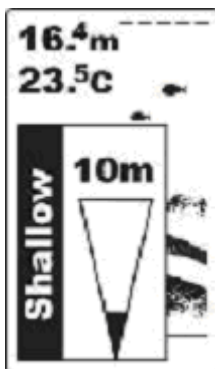
(情報は右から左へ流れます。)



**▲ ▼** で流れる早さを調整し **ENT** で決定

画面の流れるスピードが速いほど、たくさんの情報が表示されますが  
水底イメージや魚群の位置を正確に判断することが困難になります。  
また、船のスピードも考慮の上で適切な早さに調整して下さい。

- **Shallow Alarm**・・・設定した水深と同じ、または、設定した水深より浅くなるとアラームが鳴ります。



▲ ▼でアラームの鳴る水深を調整し **ENT**で決定

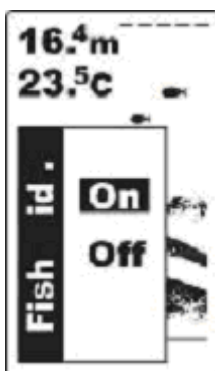
- **Depth Range**・・・測深範囲を選択することにより画面上に水底のイメージが表示される位置を設定します。



▲ ▼で測深範囲を **ENT**で決定

例) 実際の深さが 10M で測深範囲を 20M に設定してある場合、水底イメージは画面上の半分の位置に表示されます。

- **Fish ID**・・・音波に反応する物体を感知した際の画面上の表示方法を設定します。



▲ ▼で ON/OFF を選択し **ENT**で決定

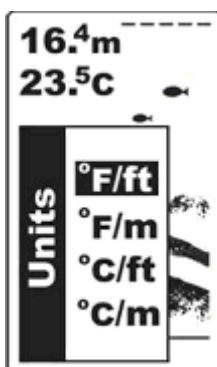
**ON**: 魚群および音波に反応するあらゆる物体を感知して魚アイコンで表示します。(下図左)

**OFF**: 魚アイコンに代わり、アーチ型アイコンで表示します。(下図右)





- Units・・・水温・水深表示の単位が切り替えられます。



▲ ▼で水温・水深表示の単位を選択し **ENT**で決定

1. °F(華氏)/ft(フィート)
2. °F(華氏)/m(メートル)
3. °C(摂氏)/ft(フィート)
4. °C(摂氏)/m(メートル)

- Backlight・・・バックライトを調節します。

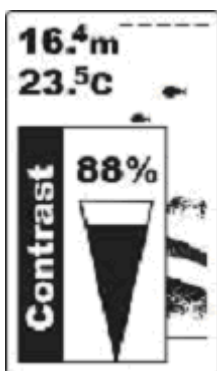


▲ ▼で ON/OFF 選択し **ENT**で決定

On: 常時ライトが点灯します

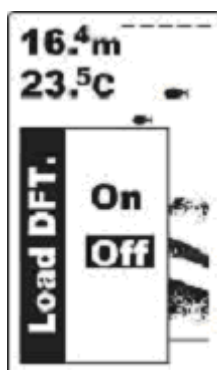
Auto: 周囲が暗い時など環境に応じてライトが点灯します。

- Contrast・・・画面のコントラストを調整します。70～100%間で調節可能です。



▲ ▼で調節し **ENT**で決定

- Load DFT・・・初期設定に戻します。



▲ ▼で選択し **ENT**で決定

ON: 初期設定に戻します。

OFF: 電源を切った後、再起動させた時も設定した機能を継続します。

#### 【シミュレーションモード】

本体とケーブルを繋がらない状態で電源を入れると、自動的にシミュレーションモードになります。

ご使用前に一度どのような画面か確認されることをお勧めします。

#### 4、メンテナンス

ご使用後センサーとケーブルを真水で洗い乾燥させてください。

ケーブル先端のプラグを濡らさぬようご注意ください。

探知機本体は水分を含ませた布を固く絞って、汚れをふき取るようにしてください。

**本体に防水機能はございませんので絶対に水洗いしないでください。**

センサー及び本体は高温、多湿、直射日光をさけて保管して下さい。

ご使用後は電池を取り除いて保管して下さい。

保 証 書		
お 買 い 上 げ 日		シリアルNo.
年		日
お客様記入	住 所	
	氏 名	
	電 話	
お店記入	住 所	
	氏 名	
	電 話	

※ 記入もれがないかお確かめ下さい。

●自然発生の故障に対して半年間の新品交換を行います。

故障と思われる場合は当社にお問合せ下さい。

(有)海遊社 TEL:0557-68-3456 E-mail:info@kai-you.com

営業時間：午前9時30分～午後6時 月曜定休

—無断で本書を複写、複製する事を禁止します。—